

第8回 丹生郡医師会健康公開講座
2013. 9. 29 越前町朝日多目的ホール

認知症を学ぼう
～あなたの疑問と不安を解決します～

もの忘れ検診と認知症予防

越前町健康増進室
保健師 谷崎 美香世

越前町もの忘れ検診の概要

<目的> 認知症を早期発見・早期に治療する体制づくり
認知症の重度化防止
認知症に対する正しい知識の理解普及促進を図る。
(平成24年度から実施、県のモデル事業として受託)

<対象者> 65才以上の奇数年齢の人 約1,600名
(介護認定を受けている人や施設入所者等は除く)

<検診方法>

- アンケート方式の質問票を郵送・回収し、全員に結果を返送。
- 二次検査が必要な人には、かかりつけ医で専門的(MMSE)な検査をお勧めする。
- 二次検査未受診の人には1ヵ月後に受診おすすめハガキ郵送。
- 質問票未提出や気がかりな点が見られる人には、電話勧誘及び個別訪問にて対応。

●今回のあなたの回答の結果、認知機能の低下が疑われます。

物忘れなどの対策は早期治療が重要ですので、1ヶ月以内に**かかりつけ医**で検査を受けられることをお勧めします。

NO	質問項目	該当	判定基準
1	バスや電車で1人で外出していますか		認知機能の低下疑い NO1～NO20で 3項目以上該当 または NO18～NO29で 1項目以上該当
2	日用品の買い物をしていますか		
3	預貯金の出し入れをしていますか		
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか		
27	好きだったことや趣味などへの興味や関心がなくなった		
30	以前より怒りっぽくなったなど性格が変わったと感じる(または、そう言われる)		
20	今日が何月何日かわからない時がありますか		
18	周りの人から「いつも同じ事を聞くなどの物忘れがあると言われますか		
26	ときどき迷うことがある		
28	物の置き忘れがしばしばあって困る		
29	最近の出来事を思い出せないことがよくある		

越前町もの忘れ検診結果 (第1段階)

もの忘れ検診(一次検診結果)

認知機能低下疑い 45%

【コメント】

- 受診者全体の45%が認知機能低下疑い
- その中の30%弱しか二次検査を受けていない。
- 二次検査を受けた人の5人に1人が要治療か経過観察に該当する。

認知機能低下疑いの受診率

受診者数 27%

未受診者 73%

質問票回収率: 59.3%
(回収数/通知数)
948人/1,599人

二次検査受診者の結果

要治療+経過観察 21%

治療の必要なし 79%

25年度中間報告 (25. 8. 31現在)

越前町もの忘れ検診結果 (第2段階)

認知機能低下疑いの中で、正しく受診し受診が必要な人がおられる割合

(第2段階)⇒下記の2問どちらか○が付いた人の集団
(認知機能低下に関連性が高いと思われる項目)
○今日が何月何日かわからない時がありますか。
○好きだったことや趣味などへの興味や関心がなくなった。

認知機能低下疑いの受診者【第2段階の人のみ再掲】

受診者数 20%

未受診者 80%

受診者全体での第2段階該当率 20.9%
(第2段階該当数/回収数)
198人/948人

二次検査受診者の結果

要治療+経過観察 37%

治療の必要なし 63%

【コメント】

- 認知機能低下疑いのある人の約半数に二次検査の重点的なお勧めが必要である。
- しかし、受診お勧め後も未受診である人が70%を超える。
- 受診お勧めを要する人達では、二次検査を受けた人の3人に1人以上が要治療か経過観察に該当する。

25年度中間報告 (25. 8. 31現在)

もの忘れ検診で、見えてきたこと

- アルツハイマー型だけでなく、脳血管性の認知症も見受けられる。治療も異なるので鑑別診断は大切!
○二次検査受診者の3割が、何らかの治療や経過観察を要する状態。
- 認知症も決して「他人事」ではない!
○アンケート方式の質問票を用いており、二次検査該当者は4割を越す。二次検診結果によると、少なくとも2～3割の人が要治療か経過観察を今後必要とする。(誰でも思い当たる同診項目だが、認知機能低下疑いもかなりの確率で発生する。)
- 認知症(重度化)予防には早期発見・早期治療と専門医受診が不可欠..... さらに
認知症を正しく理解+脳の血管を若々しく保つ

寝たきり予防・認知症予防につながる

